



JRA-55の力学的ダウンスケールによる日本全国5km領域気候データセット

1. 識別情報

名称	JRA-55の力学的ダウンスケールによる日本全国5km領域気候データセット
DOI	doi:10.20783/DIAS.660 [https://doi.org/10.20783/DIAS.660]
メタデータID	RCDSJRA5520241204133147-DIAS20221121113753-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	川瀬宏明
組織名	気象研究所
住所	日本, 305-0052, 茨城県, つくば市, 長峰1-1
電子メールアドレス	hkawase@mri-jma.go.jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

3. ドキュメント作成者

名前	川瀬宏明
組織名	気象研究所
電子メールアドレス	hkawase@mri-jma.go.jp

4. データ作成者

名前	川瀬宏明
組織名	気象研究所
電子メールアドレス	hkawase@mri-jma.go.jp

5. ドキュメント作成年月日

2024-12-04

6. データ作成年月日

creation : 2023-09-30

publication : 2022-08-31

7. データセット概要

7.1 序論

気象庁55年長期再解析(JRA-55)から20km格子を間に挟み、5km格子で北海道から沖縄まで日本全国を含む領域を力学的にダウンスケーリングしたデータセット。大気関連のデータのほか、土壌水分や土壌温度、積雪等の陸面データも含まれている。1958年9月から2022年8月までの64年間のデータである。

7.2 トピックカテゴリ(ISO19139)

climatologyMeteorologyAtmosphere

7.3 時間情報

開始日	1958-09-01
終了日	2022-08-31

7.4 地理的範囲

北限緯度	60
西限経度	110
東限経度	165
南限緯度	15

7.5 グリッド

次元の名称	次元の分割数	次元の解像度
row	527	5 (km)
column	804	5 (km)
vertical	16	1000, 975, 950, 925, 900, 875, 850, 800, 750, 700, 600, 500, 400, 300, 200, 100 (hPa)
time		1 (hour)

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Atmosphere > Precipitation > Rain, Atmosphere > Precipitation > Snow, Atmosphere > Atmospheric Temperature > Air Temperature	GCMD_science

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

JRA-55(日本語) : <https://search.diasjp.net/ja/dataset/JRA55>

ファイルダウンロード : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:660>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
grib2	2	
4 byte binary	none	4 byte binary file with grads control file

8. 系譜情報

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

- ・本データを許可無く第三者に提供しないこと。また、商業的な活動に利用しないこと。
- ・本データを利用した論文・報告文には、これを利用した旨を明記すること（下の「謝辞」参照）。
- ・免責事項

本データの作成には細心の注意を払っておりますが、利用者が本データを利用することによって生じる、いかなる損害についても作成者責任を負うものではありません。

- ・謝辞

以下の例にならった記載をお願いします。

日本語：本研究は、文部科学省統合的気候変動高度化プログラム及び気候変動予測先端研究プログラムの支援のもとに作成したRCDSJRA-55を使用しました。

英語：This study utilized the RCDSJRA-55, which was created by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) Program for the Integrated Research Program for Advancing Climate Models (TOUGOU) and Program for the advanced studies of climate change projection (SENTAN).

・論文の引用

本データセットの記述論文として以下の引用をお願いします。

Kawase et al. 2023, Historical regional climate changes in Japan in winter as assessed by a 5-km regional climate model with a land surface process, Prog Earth Planet Sci 10, <https://doi.org/10.1186/s40645-023-00536-4>

・共著

データセット作成者が深く解析等に寄与した場合を除き、データセット作成者を共著とすることは求めません。

・利用の連絡

不要です。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

本研究は、文部科学省統合的気候変動高度化プログラム及び気候変動予測先端研究プログラムの支援のもとに作成したRCDSJRA-55を使用しました。

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表、論文発表、誌上発表、報告などを行う場合は、以下を参考に謝辞を記載すること。また、データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は、それも併記すること。

“ 本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。 ”

13. 参考文献

Kawase et al. 2023, Historical regional climate changes in Japan in winter as assessed by a 5-km regional climate model with a land surface process, Prog Earth Planet Sci 10, <https://doi.org/10.1186/s40645-023-00536-4>